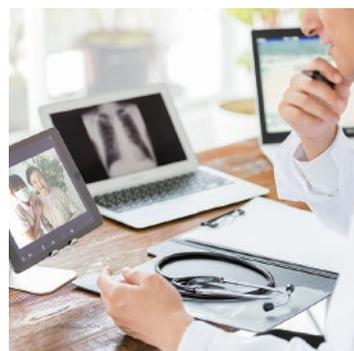
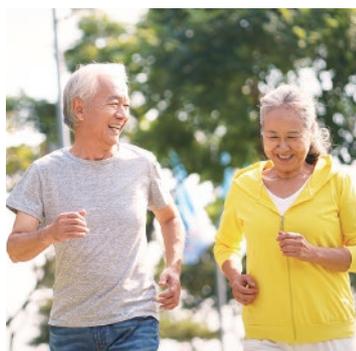
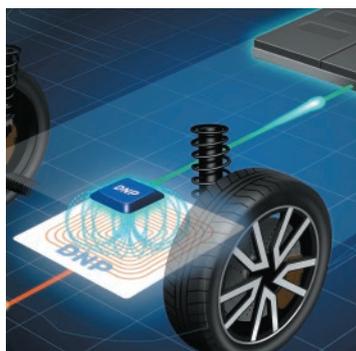


DNP Report vol.115

株主通信 (証券コード:7912)

[特集]

注力事業領域の取り組み ～ライフ&ヘルスケア部門～



大きな変革を成し遂げ、 「持続可能なより良い社会、 より心豊かな暮らし」に貢献

代表取締役社長 ^{よしなり} 北島 義斉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

DNPグループは、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」という企業理念に基づき、より良い未来を自らつくり出していくための事業活動を展開しています。

今年度は、持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らしの実現をめざして、長期を見据えた新しい「中期経営計画」(2023-2025年度)をスタートさせました。この計画では、「事業戦略」を中心に製品・サービスを通じた価値創出を進めるとともに、経営基盤の強化に向けた「財務戦略」と「非財務戦略」を推進していきます。

「事業戦略」としては、中長期にわたる強靱な事業ポートフォリオの構築に取り組むとともに、市場の成長性・魅力度が高い「注力事業領域」を中心に、価値の創出を加速していきます。「成長牽引事業」と「新規事業」を「注力事業領域」として位置付けて、経営資源を集中的に投資するほか、全ての事業で構造改革を推進していきます。また、DNP独自のコア技術等の強みを進化・深耕させるとともに、多様な強みを持ったパートナーとの共創やM&Aなども行い、人々と社会にとって欠かせない価値を提供していきます。

今年度はまた、事業領域とその戦略をより明確化し、具体的な施策の効果を高めていくため、従来の情報コミュニケーション部門をスマートコミュニケーション部門に、生活・産業部門をライフ&ヘルスケア部門に名称

変更したほか、人々の快適な暮らしに一層寄与していくため、飲料事業をライフ&ヘルスケア部門に移行しました(図1)。この新しい事業セグメントと事業ポートフォリオの関係は図2をご参照ください。今回のDNP Reportでは、「注力事業領域」のうち、「成長牽引事業」の「モビリティ・産業用高機能材関連」と、「新規事業」の「メディカル・ヘルスケア関連」の取り組みをご紹介します。この二つはライフ&ヘルスケア部門に含まれる事業です。ぜひ、4-5ページの「特集」をご覧ください。

「財務戦略」については、創出していくキャッシュを事業のさらなる成長と株主還元適切に配分していきます。また「非財務戦略」では、「人的資本の強化」「知的資本の強化」「環境への取り組み」の三つの施策を中心に、長期的な成長を支える経営基盤を強化していきます。

2024年3月期第1四半期(2023年4-6月)は、新しい三つの事業セグメントで、注力事業領域を中心とした価値の創出に取り組みました。その結果、当期間の連結業績は、売上高が前年同期比3.2%増の3,450億円、営業利益が21.5%減の132億円、経常利益が14.3%減の193億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却にともなう特別利益の計上もあり、268.8%増の580億円になりました。

私たちDNPは、独自の強みを掛け合わせ、多様なパートナーとの連携を強化して相乗効果を高めることで、より良い未来を実現する新しい価値を創出し続けていきます。今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

図1 事業セグメント(部門)再編・改称(2023年度~)

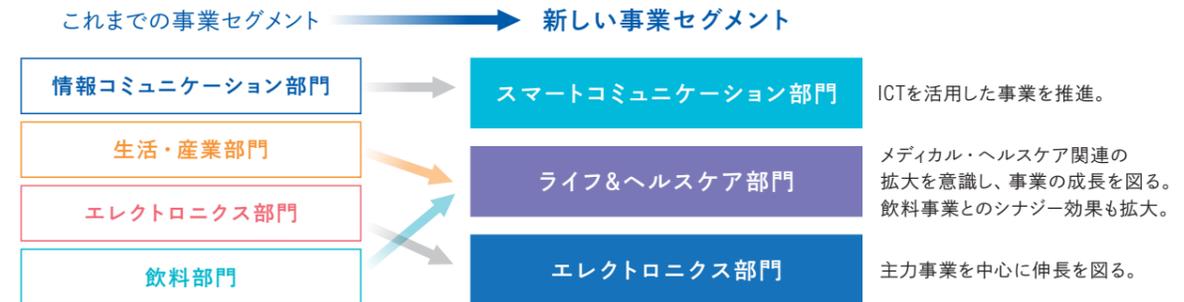
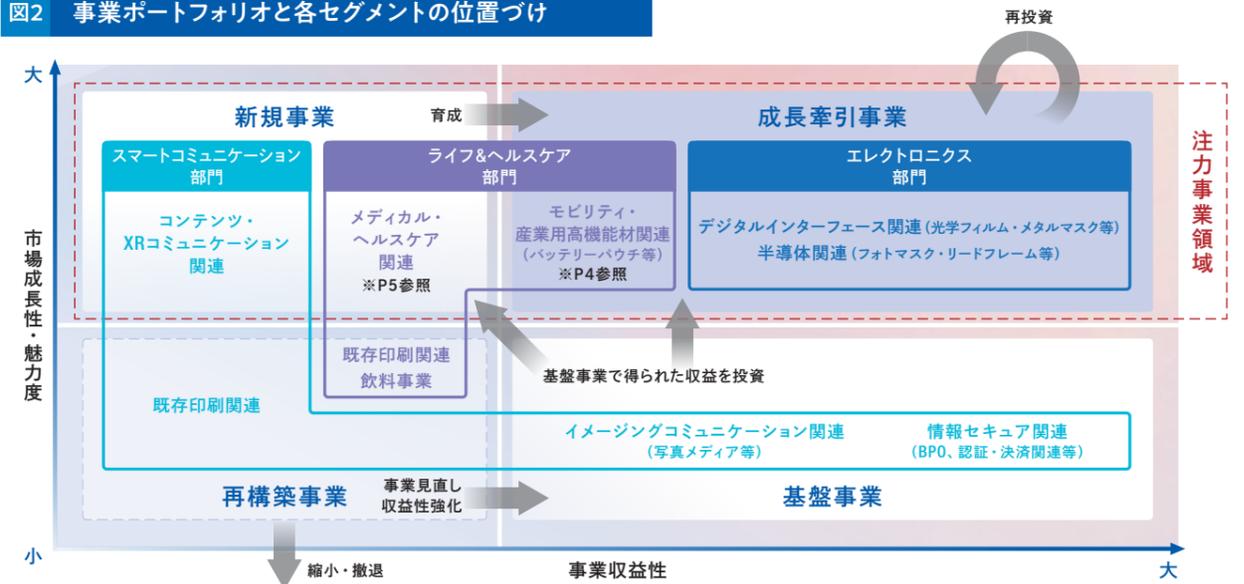


図2 事業ポートフォリオと各セグメントの位置づけ



**成長牽引事業・新規事業からなる注力事業領域への集中投資と事業構造改革を推進し、
事業環境の変化に対して強い事業ポートフォリオの構築をめざす**

【特集】注力事業領域の取り組み ~ライフ&ヘルスケア部門~

ライフ&ヘルスケア部門では、成長牽引事業の「モビリティ・産業用高機能材関連」と新規事業の「メディカル・ヘルスケア関連」といった「注力事業領域」への成長投資に加え、既存事業のグローバルな拡大への投資も推し進めます。

注力事業領域 / 成長牽引事業

モビリティ・産業用高機能材関連

DNPは、世界トップシェアのリチウムイオン電池用バッテリーパウチや、モビリティの内外装加飾材を起点として、電気自動車(EV)の航続距離の延伸や自動運転、快適な移動空間を支える製品やサービスを開発・提供していきます。

また、太陽電池関連部材等のグリーンエネルギー関連やエネルギーマネジメント関連などの産業用高機能材の開発も、さらに進めていきます。



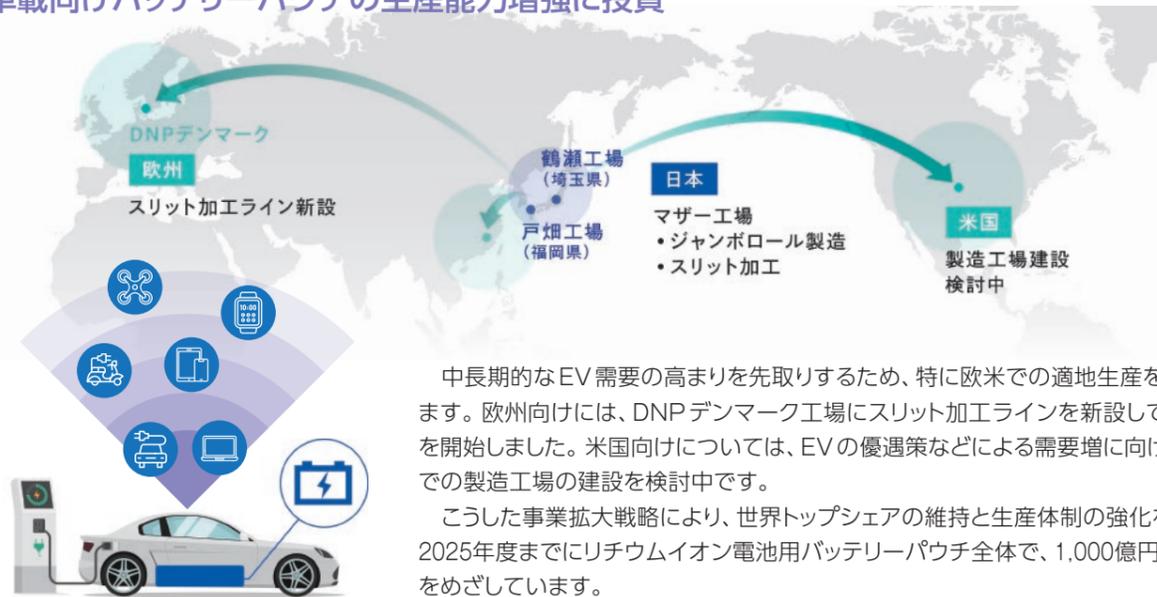
「リチウムイオン電池用バッテリーパウチ」

環境に優しくデザイン性に優れた「外装ルーフ加飾フィルム」

自動車の内装として先進的なシームレスデザインを実現する「次世代加飾パネル」

安定した品質等を強みとする「太陽電池用部材」

車載向けバッテリーパウチの生産能力増強に投資



ワイヤレス充電機能を搭載したEVの車種拡大と実用化を促進

近年、EVへのシフトを加速する技術として、充電器と車体をケーブルで接続する必要がない「ワイヤレス充電」への期待が高まっています。これは、人々が充電する負担を軽減し、利便性を向上させていく技術です。2023年3月、DNPは双日株式会社、株式会社ダイヘンとともに、ワイヤレス充電機能を搭載した商用EVでは国内初の登録認可を取得し、公道での実証を開始しました。



大電力対応の薄型・軽量の「ワイヤレス充電用シート型コイル」による充電イメージ

基本戦略

ライフ&ヘルスケア部門



- バッテリーパウチを中心とした大型設備投資で事業を拡大
- メディカル・ヘルスケア関連やグローバルを中心とした成長分野への投資
- コアバリューを活かした新製品開発や、国内外の企業との協業・サービス開発を検討

注力事業領域 / 新規事業

メディカル・ヘルスケア関連

DNPは、長年培ってきた「P&I」(印刷と情報)をベースに、食品包装技術等を発展させた医薬品パッケージ事業や、精密有機合成技術等を駆使した原薬事業を推進しています。また、再生医療等の先進医療分野にも早くから着目し、AIを用いた検査技術などで先進医療事業者を継続的に支援するとともに、不妊治療や遠隔診療、健診等の分野で、ICTやオンライン技術を用いたサービスを展開しています。



遠隔診断(イメージ)

オンラインヘルスケア(イメージ)

再生医療や創薬への応用が期待される「ミニ腸」の開発・提供

製薬業界のバリューチェーンを支援し、新しい価値を創出

DNPは、医薬品開発支援事業や医薬品製剤開発・製造支援事業等を営むシミックホールディングス株式会社との戦略的提携を2023年4月に開始しました。その一環で、製剤事業を営むシミックCMO株式会社に資本参加し、DNPのグループ会社として迎えました。

DNPグループとシミックグループのリソースを掛け合わせて、原薬から製剤までの一貫製造や、付加価値型医薬品の開発などに取り組みます。医薬品業界のサプライチェーンにおける課題解決を支援する製品・サービスを開発・提供し、今後の継続的な事業の拡大につなげていきます。

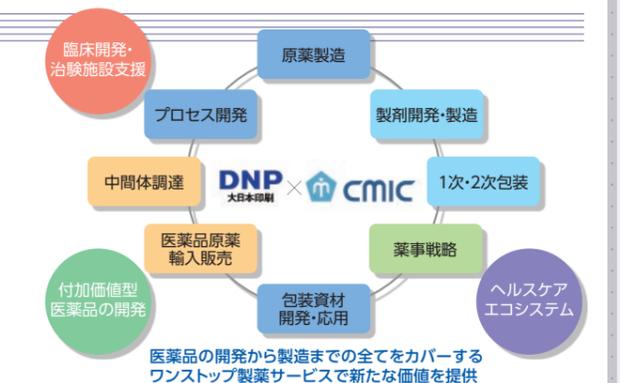
※シミックグループ:1992年に日本で初めて医薬品開発支援事業を開始。医薬品の開発・製造・営業・マーケティング等の支援を総合的に行っています。



シミックCMO静岡工場(上)と計測機器(下)

事業戦略・投資計画

- ▶ DNPファインケミカル宇都宮の原薬事業の拡大、シミックCMOの製剤事業の拡大、両社連携による医薬品原薬の開発・製造から製剤開発・製造までの一貫体制の確立
- ▶ DNPのパッケージ技術とシミックCMOの製剤開発技術の掛け合わせによる付加価値型医薬品の開発
- ▶ シミックグループとの協業による治験サポート事業のDX化の推進や、健康の維持・増進、生活習慣病につながるリスク低減のための未病対策等のヘルスケアソリューションの追求



Pickup News

2023年4月3日発表

DNPとSCIVAX ナノインプリント製品を量産するファウンドリー事業で資本業務提携 生産管理を担う合弁会社「ナノインプリントソリューションズ株式会社」を設立

DNPとSCIVAX株式会社(サイヴァクス)は、ナノメートル(10億分の1メートル)単位の微細な型を押し付けて対象物にパターンを形成する「ナノインプリント」製品の量産に向けて、製造受託(ファウンドリー)事業に関する資本業務提携を行いました。2023年4月には、本事業の生産管理を担う合弁会社「ナノインプリントソリューションズ株式会社」を設立。最先端ナノインプリント用原版(マスターモールド)製造技術、量産・品質管理ノウハウなどのDNPの強みと、量産製造設備、装置設計技術などのSCIVAX社の強みを掛け合わせ、国内外のメーカーのニーズに対応していきます。



【市場動向など】 国内外の企業が超微細加工・量産技術として、ナノインプリント技術の適用・検討を進めるなか、ナノインプリント製品の市場の拡大が見込まれています。例えば、スマートフォンや決済端末での顔認証等を支える3Dセンサー、VR(仮想現実)・AR(拡張現実)・MR(複合現実)等で新しい体験価値を生み出すXR(Extended Reality)用機器(スマートグラス等)、創薬や医療診断等に用いる次世代DNAシーケンサーバイオデバイス素子など、幅広い領域でナノインプリントの利用が期待されています。

2023年7月27日発表

印刷業界で唯一、GPIFが採用する全てのESG指数の構成銘柄に継続選定 世界的に権威がある「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄にも23年連続で選定

DNPは印刷業界で唯一、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が採用する、全てのESG指数の構成銘柄に継続して選定されました。今回、「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」に加え、今年GPIFが新たに採用した「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数<除くREIT>」に選定されました。これらは、GPIFがESGに関する優れた取り組みを行っている日本企業に投資する「ESG投資」で採用している指標です。

またDNPは、世界的に権威のある社会的責任投資(SRI:Socially Responsible Investment)の指標である「FTSE4Good Global Index」に23年連続で、「FTSE Blossom Japan Index」に7年連続で選定されました。



2023年8月31日 日本語版PDF公開

「DNPグループ統合報告書2023」を発行しました

DNPは、価値創造プロセスや中期経営計画等について、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えする「DNPグループ統合報告書2023」を発行しました。本誌は、事業戦略や財務情報に、環境・社会・ガバナンス(ESG)の取り組みなども含めた活動全体に関する年次報告書です。DNPは本誌のほか、有価証券報告書、株主通信、環境報告書等の発行物や、さまざまな対話の機会を通じて説明責任を果たし、企業価値の向上につなげていきます。



DNPのWEBサイトでご覧いただけます。

◎日本語版PDFのダウンロードページ

URL <https://www.dnp.co.jp/ir/library/annual/index.html>

※英語版PDFおよび、日本語版の冊子も発行する予定です。



2024年3月期第1四半期決算のご報告 (2023年4月1日~2023年6月30日)

連結業績の概況 (単位:億円)		
科目	当第1四半期	前第1四半期
売上高	3,450	3,344
営業利益	132	169
経常利益	193	226
親会社株主に帰属する 第1四半期純利益	580	157

連結業績の予想 (単位:億円)	
科目	2024年3月期通期(対前期増減率)
売上高	14,100 (+2.7%)
営業利益	670 (+9.4%)
経常利益	780 (△6.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	880 (+2.7%)

1株当たり当期純利益343円79銭



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)		
科目	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産の部	18,516	18,303
流動資産	8,190	8,029
固定資産	10,326	10,273
負債の部	6,938	6,821
流動負債	3,872	3,985
固定負債	3,065	2,835
純資産の部	11,578	11,482

スマートコミュニケーション部門



写真プリント用昇華型熱転写記録材

売上高 1,800億円 前年同期比 3.7%増
営業利益 49億円 前年同期比 4.2%増

写真のプリント用部材や撮影サービス、BPO (Business Process Outsourcing) の大型案件やICカードなどが堅調に推移し、収益に寄与した結果、増収・増益となりました。

ライフ&ヘルスケア部門



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

売上高 1,092億円 前年同期比 5.3%増
営業利益 15億円 前年同期比 42.7%増

原材料やエネルギー等のコスト上昇の影響を受けましたが、リチウムイオン電池用バッテリーパウチや太陽電池用部材などの、注力事業や収益性の高い製品が増加し、増収・増益となりました。

エレクトロニクス部門



半導体用フォトマスク

売上高 562億円 前年同期比 2.1%減
営業利益 124億円 前年同期比 23.1%減

光学フィルムの売上高が増加に転じたものの、有機ELディスプレイ製造用メタルマスクや半導体パッケージ用部材のリードフレームなどの売上の減少により、減収・減益となりました。

「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント

2024年版「DNPenguin卓上カレンダー」を株主の皆様へプレゼントいたします。DNPenguinは、DNPの多様な取り組みや製品・サービスをわかりやすく紹介するオリジナルキャラクターです。

プレゼントご希望の方は、同封のハガキに、お名前、電話番号、ご住所、株主番号(同封の「送付票」右下に記載されている9桁の番号)を全てご記入いただき、同封の保護シールを貼付のうえ、ご返送ください。

※お送りするカレンダーは、お一人様1部、日本国内の発送に限らせていただきます。※株主様ご本人のお名前でお申込みください。※株主登録のないお名前でお申込みされた場合および記入項目に不備や空欄がある場合は、お届けできないことがあります。※発送は2023年12月頃を予定しています。

お申込み締切 **2023年10月31日(火)当日消印有効** ※締切日にご注意ください。

お問い合わせ 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント事務局
電話:0120-300-054(フリーダイヤル)

お問い合わせ受付期間:2023年10月6日~2024年2月2日(土・日・祝日除く10:00~17:00受付)
※2023年12月29日~2024年1月4日は年末年始休暇のため、お問い合わせ受付はお休みとさせていただきます。

〈お申込み情報の取扱いについて〉

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2024年6月以降の株主総会に関するお電話でのご案内に利用させていただくことがあります。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

大日本印刷株式会社個人情報保護方針 URL <https://www.dnp.co.jp/privacy/>

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

個人情報取扱責任者 IR・広報本部 IR室長

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 証券会社等に口座をお持ちの株主様
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買増請求につきましても、お取り扱いしております。



縦 約14cm×横 約19cm 紙製カレンダー

デザインは変更になる場合があります。ご了承ください。

同封のハガキ

株主番号をご記入ください



「送付票右下」の番号が「株主番号」です。

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL : 03-3266-2111(大代表)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。